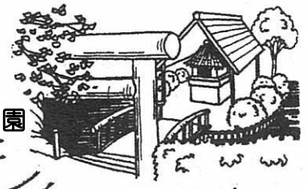
山王公園の西側に阿部笞人の句碑がある。昭和20年から亡くなる42年まで市川に在住。著書は、俳句の入門書『俳句・四合目からの出発』など。

阿部笞人の句碑

曽谷縄文まつりが毎年10月初旬に曽谷貝塚で行われる。古代食や出土土器の展示など。
主催：曽谷縄文まつり実行委員 後援：市川市



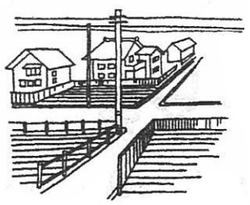
北消防署曽谷出張所脇にある春日神社の境内に入り、拝殿に右隣に4つの末社を合祀する小社がある。正面に近づき格子状のガラスの窓越しに高さ50～60m位の石碑が4基ある。（奉勘請子神、山王大権現、大六天魔王、八幡神社）また拝殿左手前には、平成11年に建てられた神輿庫がある。庫内中央には同年に奉納された見事な神輿が1基。その両側に子供神輿が2基あるのがわかる。

安国寺は文応元年（1260）曽谷の城主・曽谷教信が日蓮に帰依して、館のかたわらに建立した寺院です。

曽谷城跡にある案内板

曽谷城跡は「曽谷殿屋敷」といわれた地域で、わずかに土塁と空堀の一部が残る。曽谷城主は、国分胤鎮が同族重胤に曽谷の近在3千町歩を与え重胤が城主となり、その孫が日蓮に帰依して安国寺を開いた。

蓮正寺の正門にかかる松の枝が見事



縄文人が木を切るために石を磨いてつくった磨製石斧（ませいせきふ）という道具などが見つかっている。現在は、周辺の畑土に混じって貝殻が多く見られる。

所願寺は寛文6年（1666）の創立。本堂の脇には貝殻がわずかに見られる。

春日神社・大イチョウに囲まれている。

中通りから見える茅葺きの民家